



まずは知っておきたい 北陸新幹線の 基礎知識

北陸新幹線の整備には どんな目的があるの？

北陸新幹線は、長野や北陸地方都市と東京・大阪をつなぐ新たな高速交通ネットワークとして、都市交流や経済効果など、様々な波及効果を期待して整備が進められています。

また、東海道新幹線が大災害時に分断された際の代替路線としての機能確保も目的としています。

現在までに どこまで整備が進んだの？

北陸新幹線は、既に東京と長野間が整備されて長野新幹線（正式名称は北陸新幹線）として平成9年10月に開業し、運行中です。

また、長野から金沢（白山総合車両基地）間については、図のとおり現在整備中であり、平成26年度末に完成予定です。

さらに、その先の白山総合車両基地から敦賀区間は、今年中に国の工事着工認可がされる予定で、総工事費1兆1,600億円をかけて平成37年度頃の供用開始を目指しています。

米原市でも、市民のみならず情報共有を図るため、北陸新幹線整備の現状などについて、シリーズでお伝えしていきます。



敦賀以西のルートは どうなっていくの？

整備計画において主要経過地は、長野市付近、富山市付近、福井県小浜市付近と定められていますが、敦賀以西のルートについては、まだ具体的なルートが定まっていません。

そのため次の3つの案が現在検討されているところです。

- ① 小浜ルート（敦賀～小浜～大阪）
- ② 湖西ルート（敦賀～京都）
- ③ 米原ルート（敦賀～米原）

今回は、この3つのルートの詳細や、ルート整備に伴う地元負担や並行在来線の問題などについて、考えていきます。

北陸新幹線 整備状況と路線の概要



資料) 国土交通省交通政策審議会 陸上交通分科会鉄道部会 整備新幹線小委員会資料より

*このページに掲載した情報は平成24年6月21日現在のものです。

お問い合わせ 政策調整課（米原庁舎）
☎52-6626 ☎52-5195